



さん が

第 九五 号

平成 二九年

西暦 二〇一七年

秋 彼岸 九月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

この秋、大本山永平寺に

参拝します

夏にご案内しておりましたように、今年はお寺の旅行で、永平寺にお参りすることになりました。

「永平寺」というと、どのような印象を持っておられるでしょうか。

厳しい禅の修行道場や、深山にある観光寺院というイメージでしょうか。いずれにしても、境内に足を踏み入れたときの、何ともいえない荘厳な雰囲気は大本山にふさわしいものですね。

その印象は、樹齢七百年を誇る巨大な杉並木や、点在

する七十ほどの伽藍から来るものでしょう。そして何よりも、そこで修行する大勢の若い和尚さんからもたらされるものでもあります。

およそ七七〇年前、寛元二年（一二四四）に創建された永平寺。

何度となく戦火にも巻き込まれ、いちばん古い建物でも江戸時代中期のもの。いわゆる文化財は多くなく、お経が書かれた書物などが、国宝や重要文化財に指定されているくらいです。

ですが、永平寺のいちばんの宝物は、そこにいる人たちと言えます。比叡山をお開きになった伝教大師が、いみじくも「道心有るの人を名づけて国宝と為す」とおっしゃったように、道心を持って集まる人たちの聖地です。その道心を養う曹洞宗の根本道場としての長い伝統を、まったく変えることなく継続してきているのです。

お参りになるみなさまには、どうかその姿に直接ふれて、自らの生きる力のもととしていただければ幸いです。

秋のお彼岸法要は

9月23日（土―秋分の日） 午前10時から
もとにもどって、お中日におつとめします。みなさま
のお参りをお待ち申し上げます。

秋の団参は



すでにご案内の通り、曹洞宗の大本山である、永平寺
への参拝です。永平寺では、ご参加みなさまの、ご先
祖さまへのご供養法要もおこないます。
宿泊は山代温泉。北陸の海産物もご堪能いただきます。

日時 10月30日（月）～31日（火）
宿泊 山代温泉「森の栖」
参加費 三二、〇〇〇円

（永平寺へのお供えが含まれています）

募集パンフレットは、東運寺ホームページからも
ご覧いただけます。
詳しくは、お寺までお問い合わせください。

☆ ☆ ☆

この夏を、みなさまはどうお過ごしでしたか。暑さはもち
ろん湿度も高く、熱中症になりやすい毎日でお疲れになった
ことと思います。

その暑さのせい、とは言えませんが、お寺の山門入って右
手にある、松の木が枯れかけていることがわかりました。葉
っぱが茶色くなってしまったのです。庫裡が新しくなったと
きに植え替えられ、以来二十年近くみなさまをお迎えしてお
りましたが、ただいま庭師さんと相談して、どのようにすれ
ば良いか対応を検討中です。

松のその後については、またこのお便りでもご報告してま
いります。



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→

京都 東運寺

検索